

**2019年度
基礎データ集**

学習に関する項目

■ 分析軸

- ✓ 学校段階別 （〔小1～3生／〕小4～6生／中学生／高校生）
 - ✓ 学年別 （〔小1／小2／小3／〕小4／小5／小6／中1／中2／中3／高1／高2／高3）
- ※〔 〕内は保護者回答がある項目
※生活項目では一部、成績別

■ 分析対象者数 *「w5に親子ともに回答（小4～高3）」かつ「学年が特定できた回答者」のみを対象

学校段階			
小1～3	小4～6	中学生	高校生
5,175	4,071	3,168	2,892

学年											
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
1,740	1,732	1,703	1,492	1,379	1,200	1,136	1,032	1,000	967	970	955

学習に関する項目

■ 対象項目

「ふだんの勉強場所」 ※小1～3生は保護者回答

「学校の授業であったこと」 ※この1年くらいの間

「学校生活」

「先生のかかわり」

「親の勉強に対するかかわり」

「学習スタイル」

「勉強する理由」

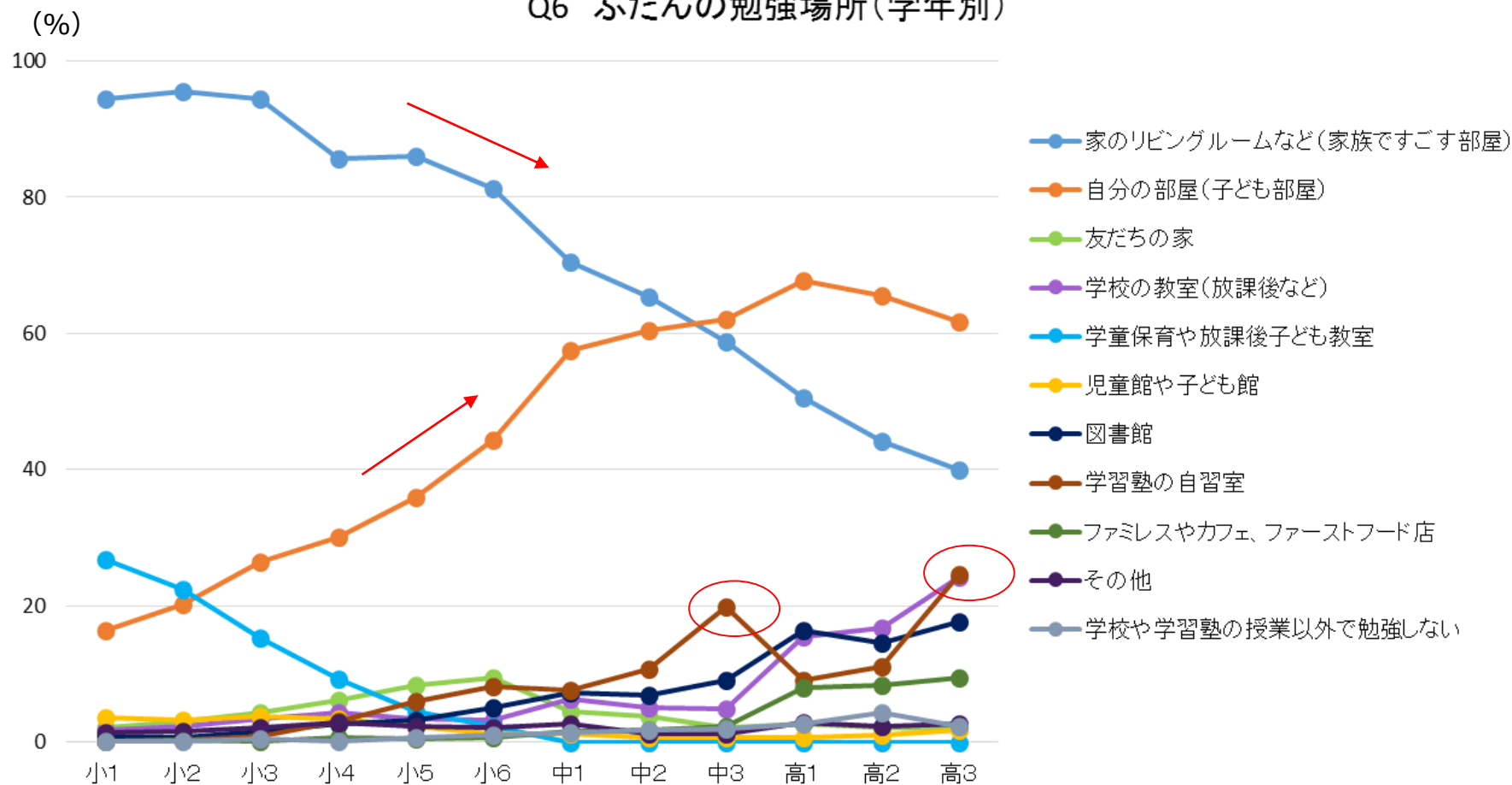
「勉強について思うこと」

「保護者の学校信頼」

【子】 ふだんの勉強場所(学年別)

学年が上がるにつれ、「家のリビング」は下降、「自分の部屋」は上昇。
「学習塾の自習室」は受験学年（中3と高3）で上昇。
「学校の教室」「図書館」「ファミレス等」は高校生で上昇。

Q6 ふだんの勉強場所(学年別)



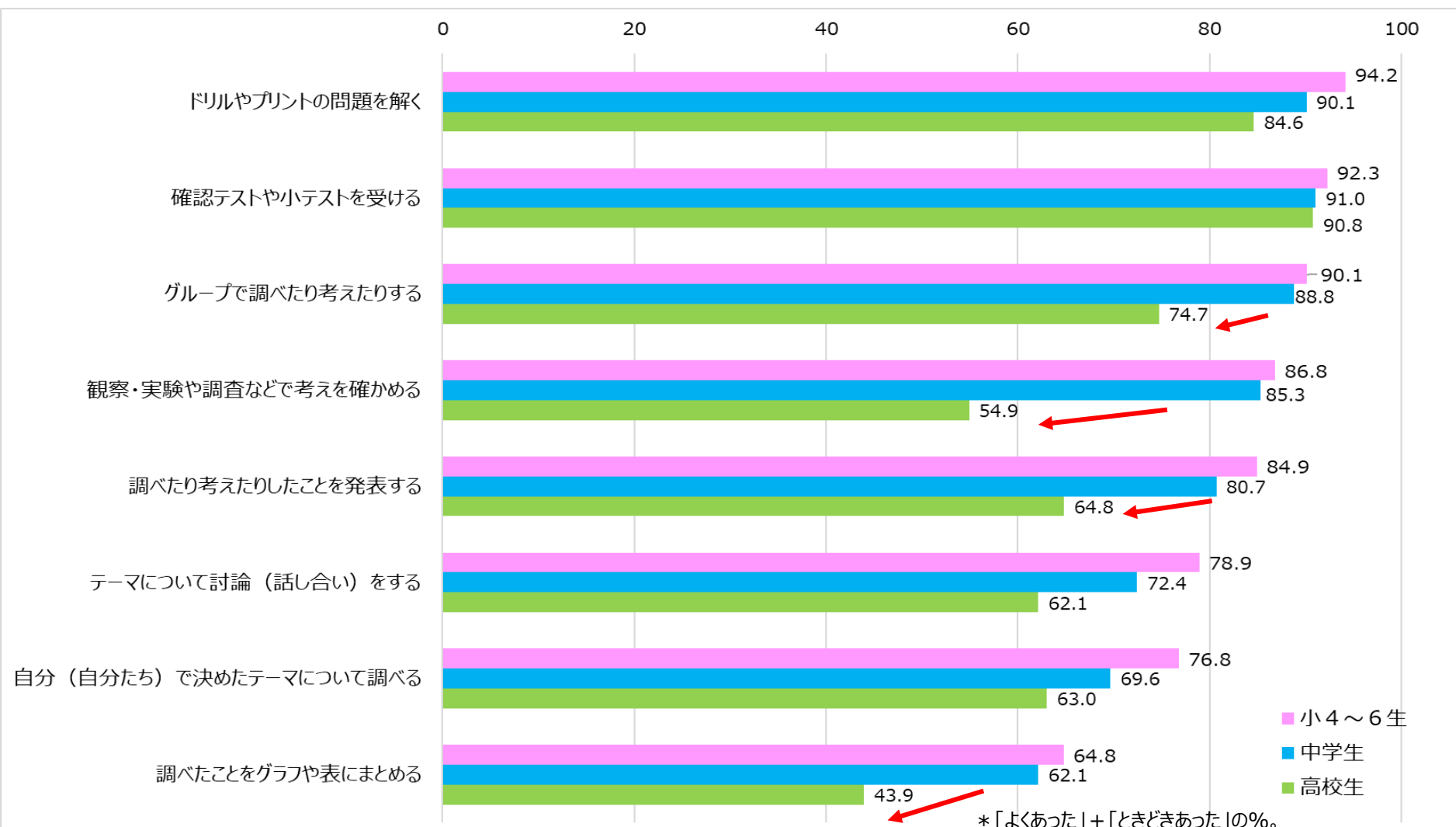
* 複数回答。

* 「小1～3生」は保護者回答。それ以外は子ども回答。

【子】 学校の授業であったこと(学校段階別) ※この1年くらいの間

「グループで調べたり考えたり」「観察・実験などで考えを調べる」
「調べたり考えたりしたことを発表」「調べたことを表やグラフにまとめる」は
中学生から高校生へかけて大幅に減少

(%)

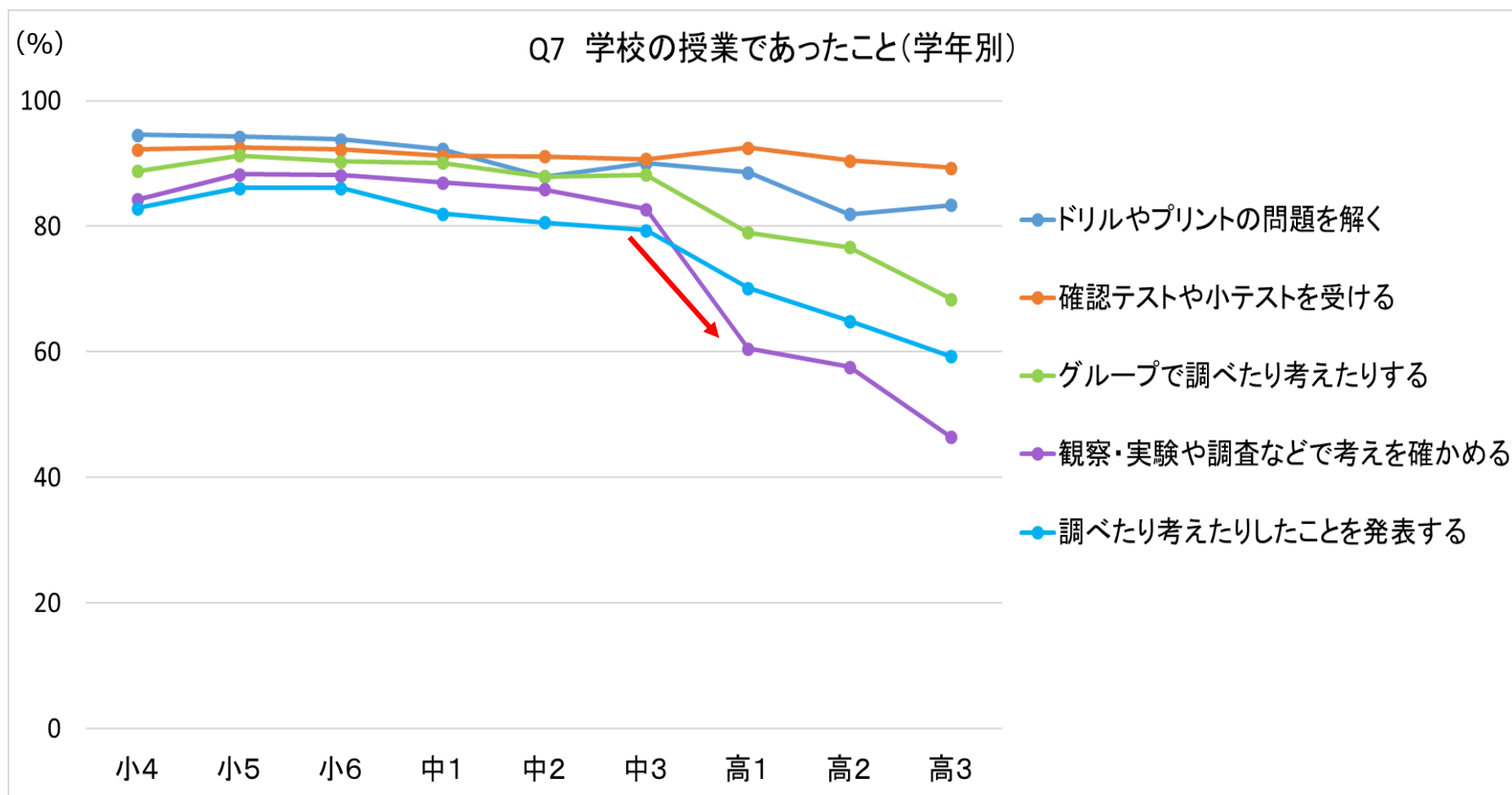


*「よくあった」+「ときどきあった」の%。

*「小4～6生」の値の降順で、上から順に項目を並べた。

【子】 学校の授業であったこと(学年別) ※この1年くらいの間

「ドリルやプリント」「確認テスト」はすべての学年で高水準をキープ
「観察・実験や調査などで考えを確かめる」中3→高1で特に下降

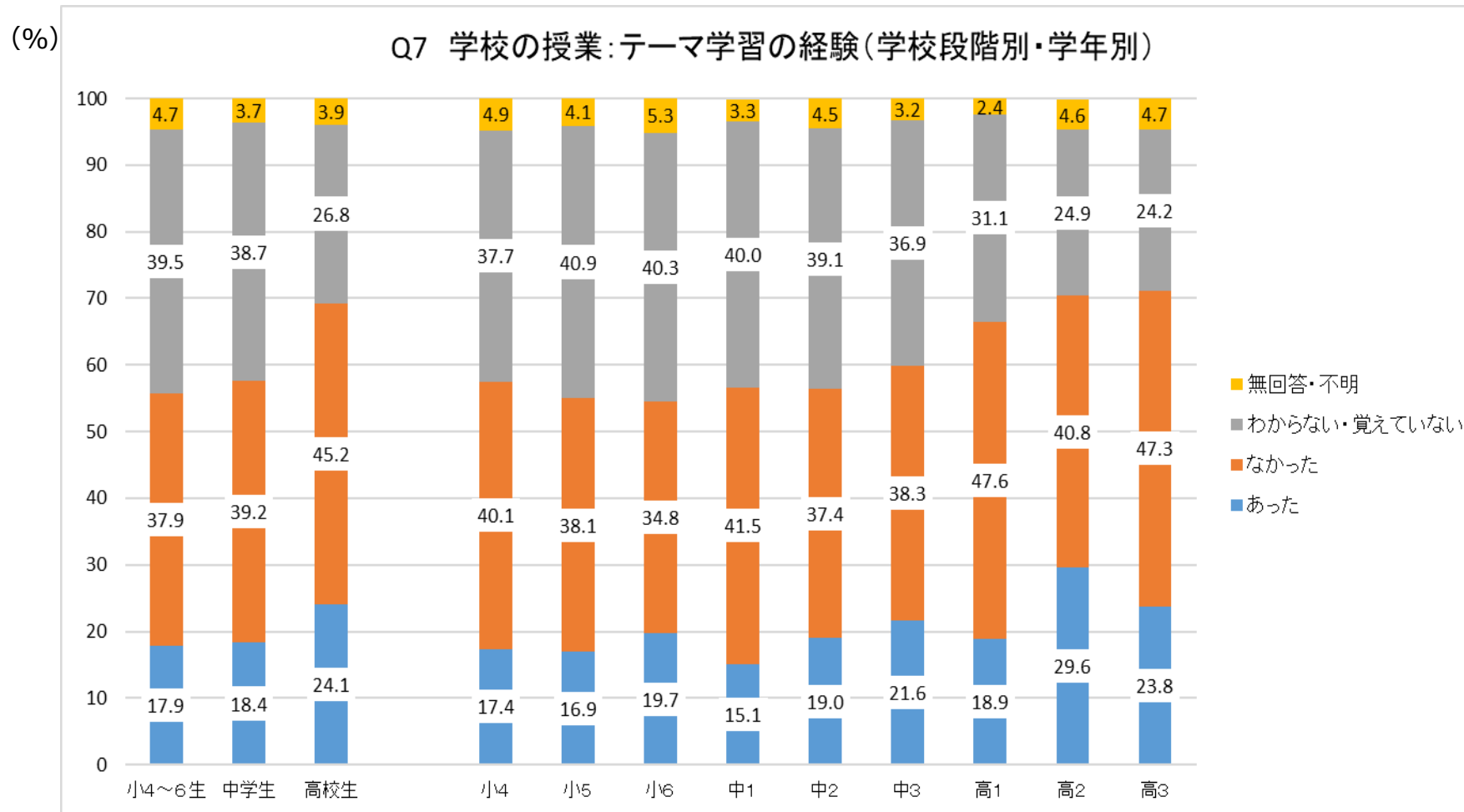


*「よくあった」+「ときどきあった」の%。

【子】 学校の授業:テーマ学習の経験(学校段階別・学年別) ※この1年くらいの間

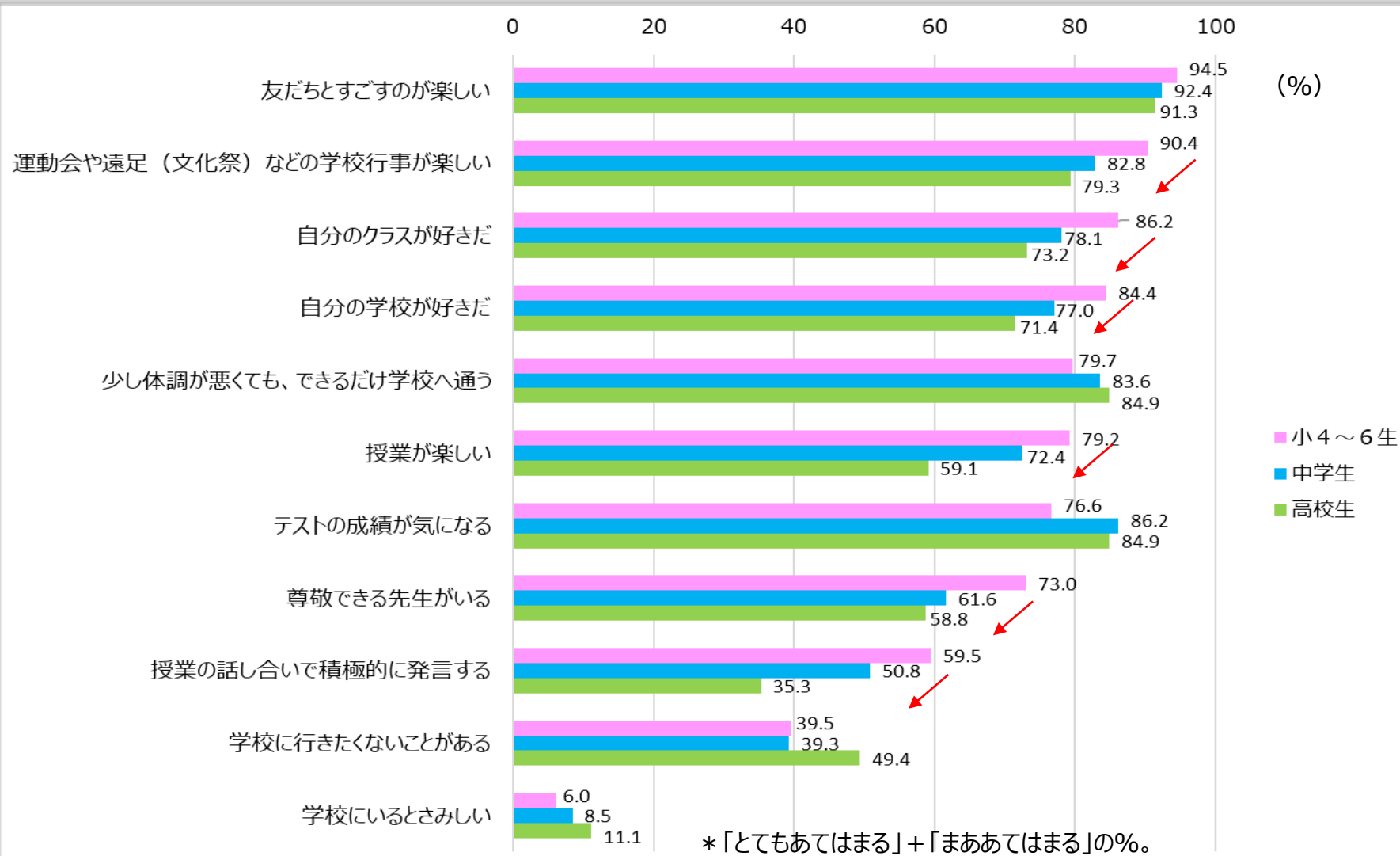
約2割の児童・生徒が「はい」と回答

Q. 学校の授業で2か月以上かけて1つのテーマを調べたり考えたりしたか



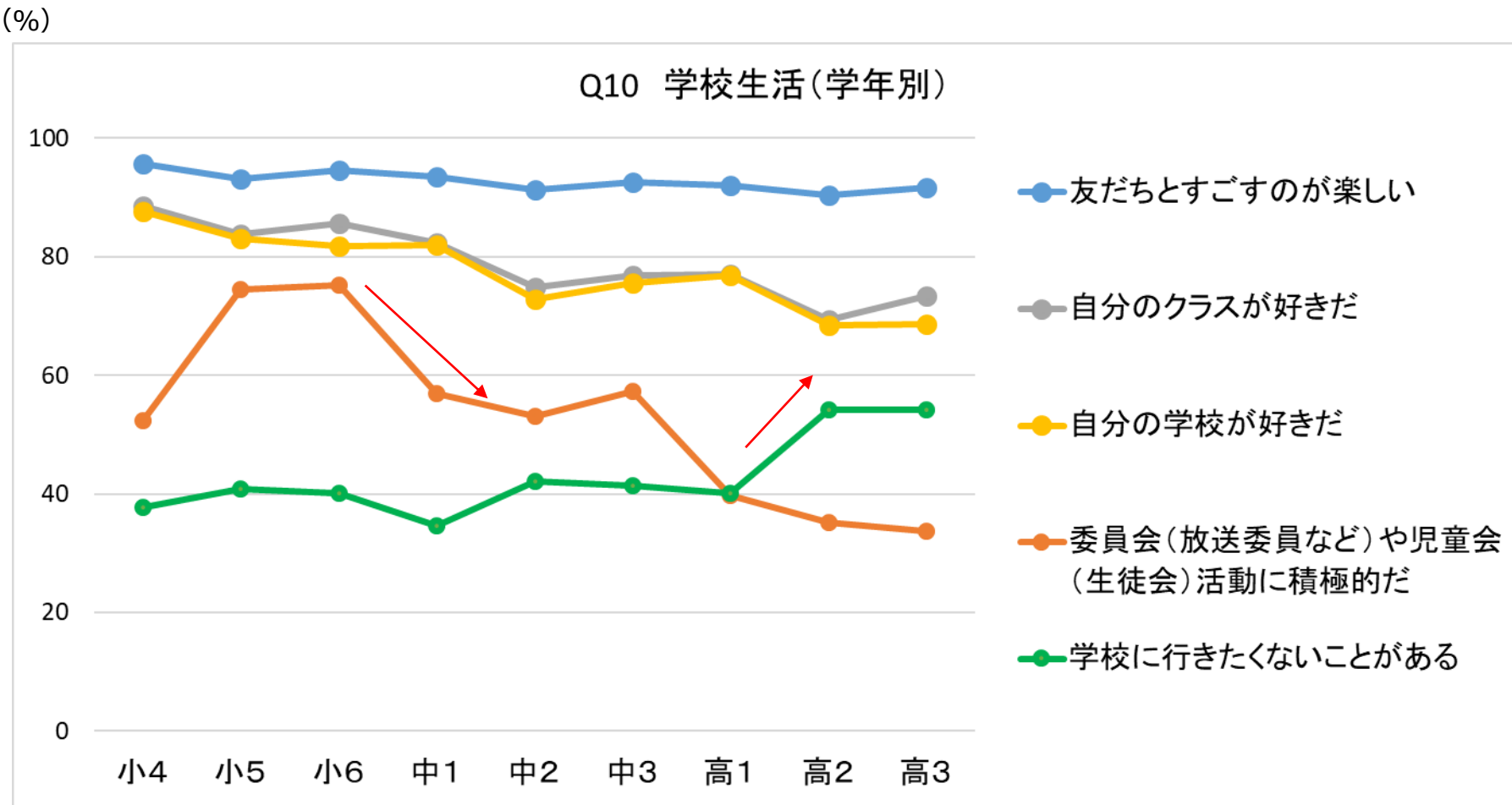
【子】 学校生活(学校段階別)

「クラス・学校が好き」「学校行事・授業が楽しい」「尊敬できる先生がいる」
「授業の話し合いで積極的に発言」は高学年になるにつれ下降



【子】 学校生活(学年別)

「友だちと過ごすのが楽しい」 高水準をキープ
「委員会活動に積極的」は小6→中1で下降
「学校に行きたくないことがある」 高2 から上昇

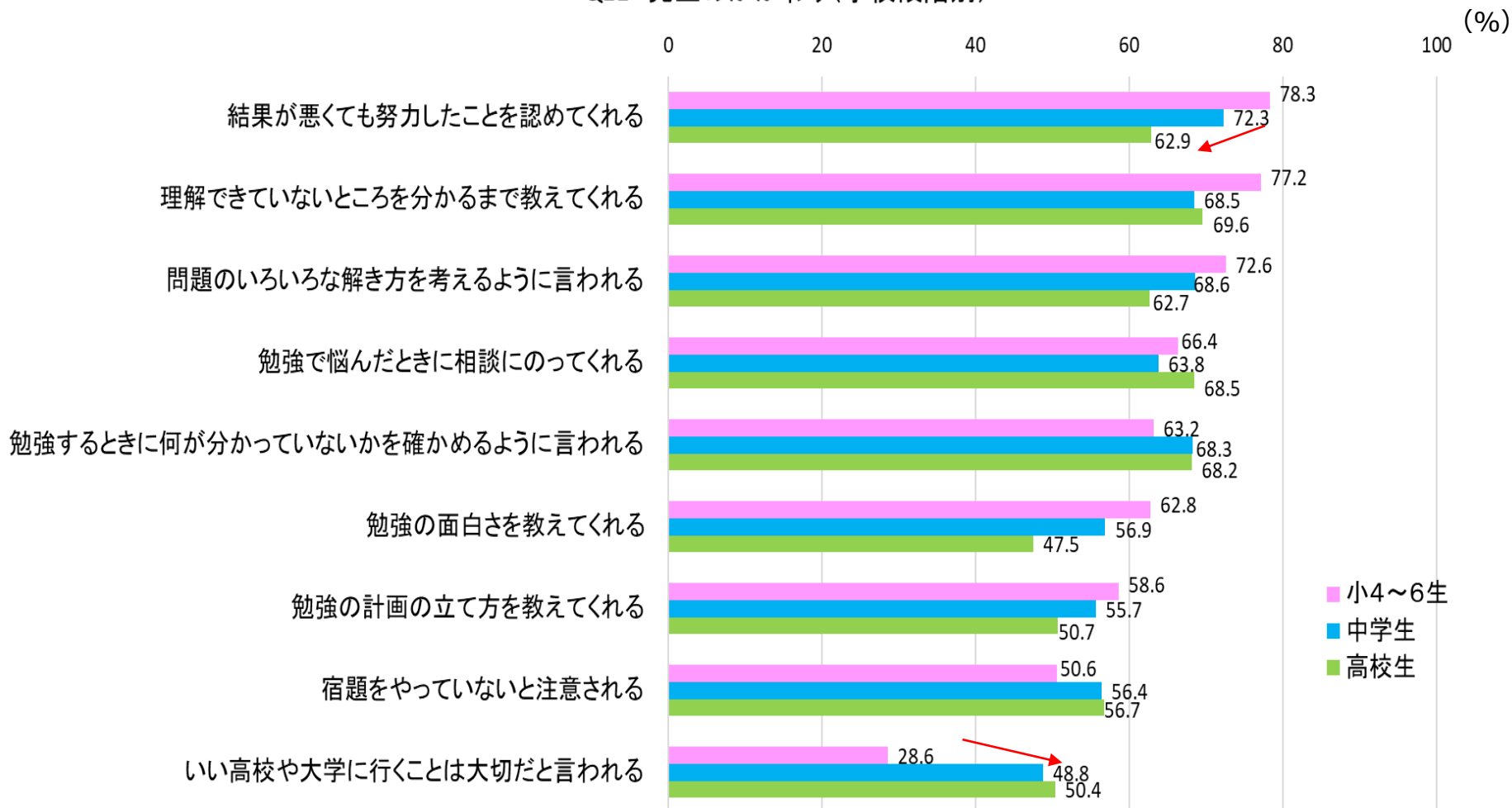


*「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

【子】 先生のかかわり(学校段階別)

「結果が悪くても努力を認める」は中高にかけて下降
「いい大学に行くことは大切だと言われる」中高で5割

Q11 先生のかかわり(学校段階別)

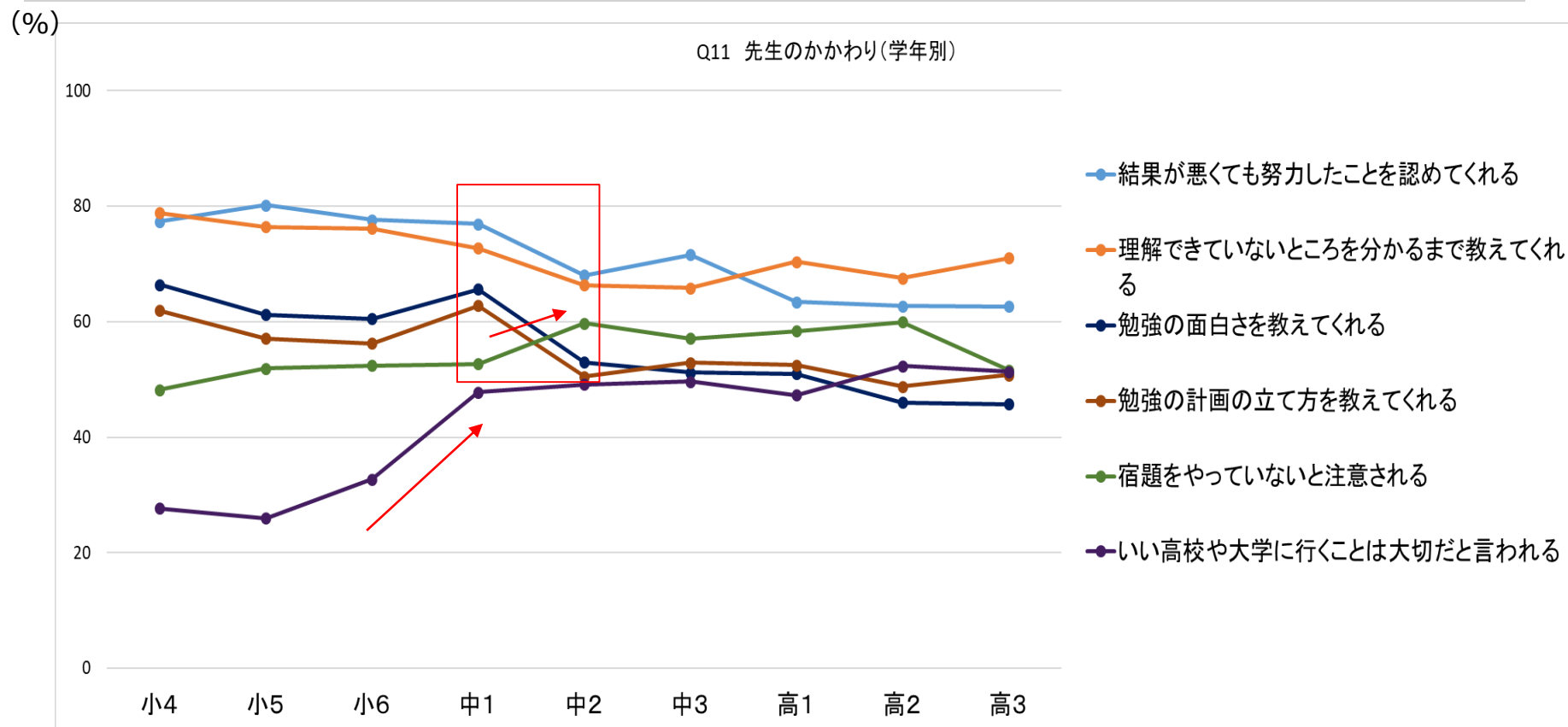


*「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

*「小4～6生」の値の降順で、上から順に項目を並べた。

【子】 先生のかかわり(学年別)

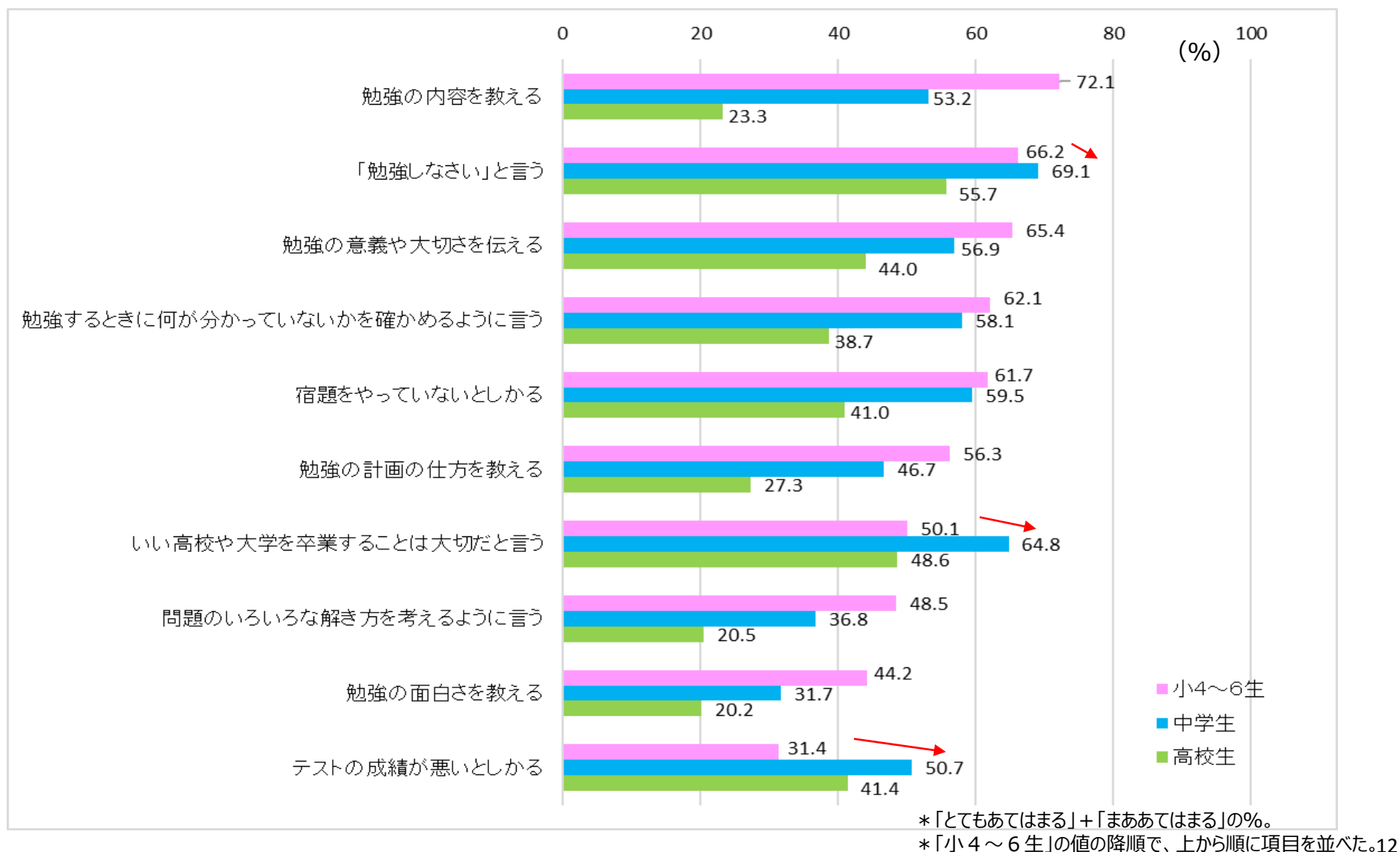
中1→中2にかけて先生の勉強のかかわりは全体的に下降。
 しかし、宿題をやっていないと注意されるは増加。
 「いい大学に行くことは大切だと言われる」小6→中1で急上昇



*「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

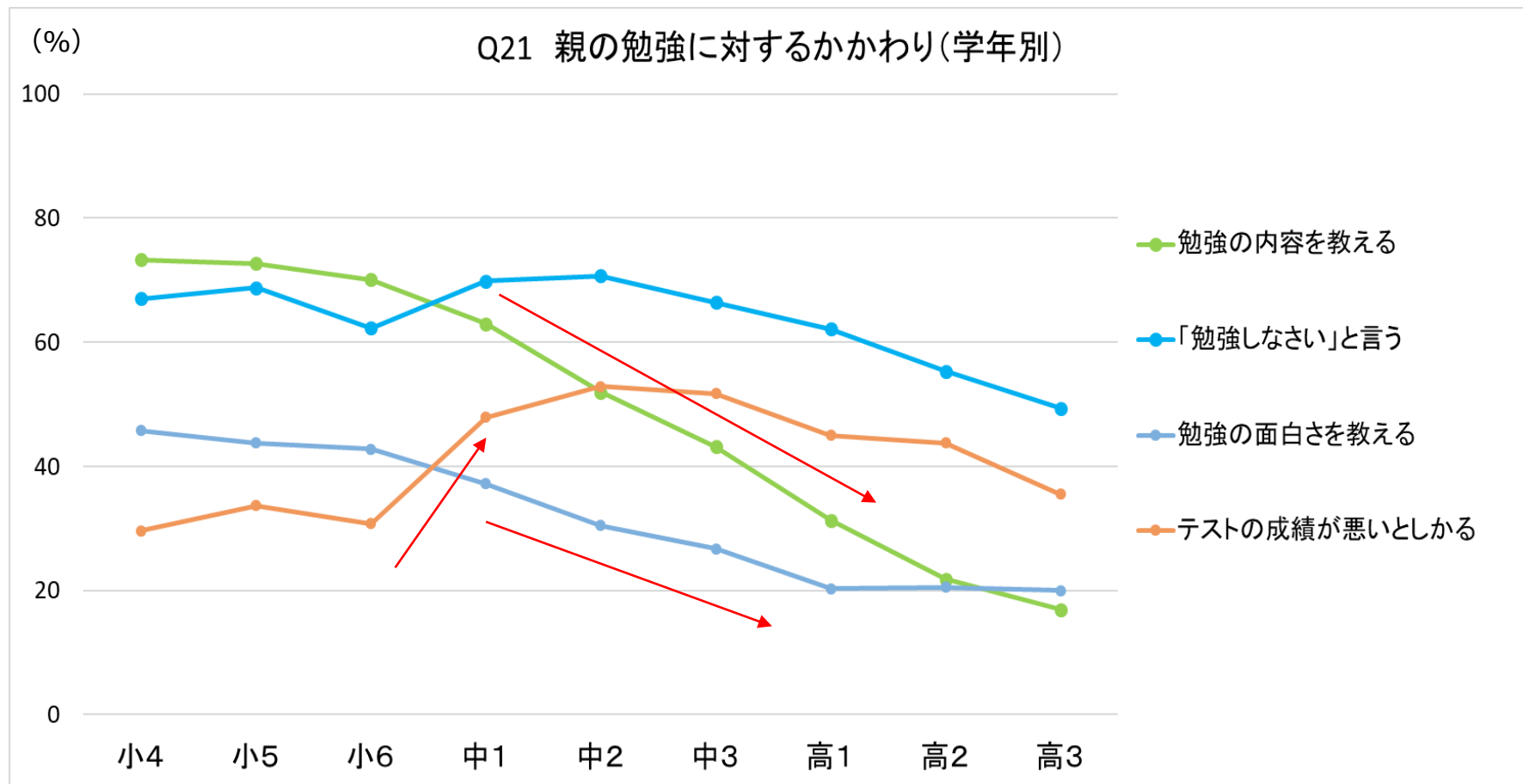
【子】 親の勉強に対するかかわり(学校段階別)

親の関わりは高学年になるほど下降傾向。ただし、「勉強しなさい」「いい高校や大学を卒業するように言う」「テストの成績が悪いと叱る」は中学生で上昇。



【子】 親の勉強に対するかかわり(学年別)

「勉強しなさい」「テストの成績が悪いとしかる」は小6→中1で上昇
 「勉強の内容を教える」「勉強の面白さを教える」は学年が上がるにつれ下降

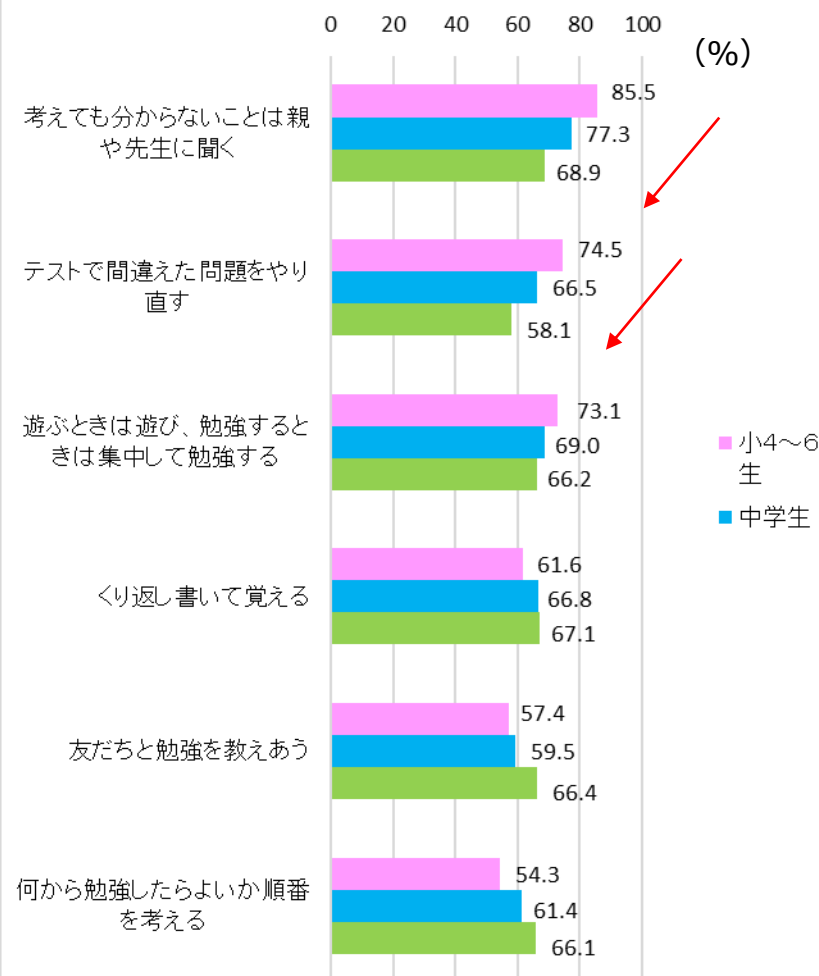


*「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

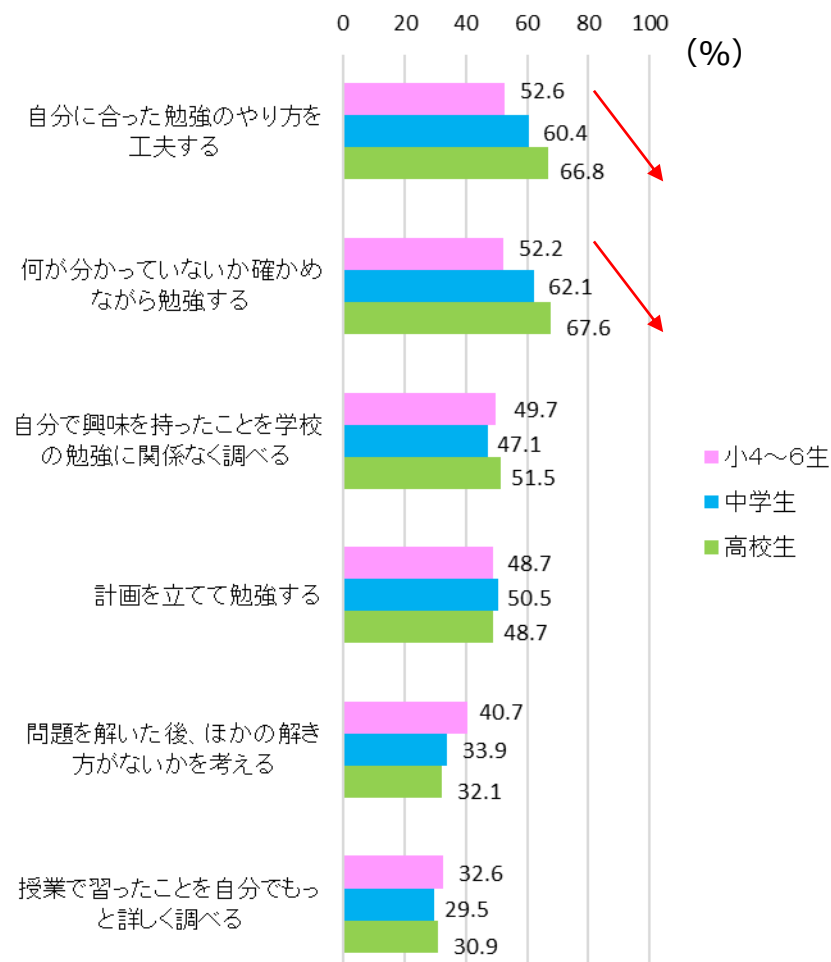
【子】 学習スタイル(学校段階別)

高学年ほど「わからないことは親や先生に聞く」「テストの間違えはやり直す」は下降、「勉強のやり方を工夫」「何がわかっていないか確かめながら勉強する」は上昇。

Q17 学習スタイル(学校段階別)



Q17 学習スタイル(学校段階別)

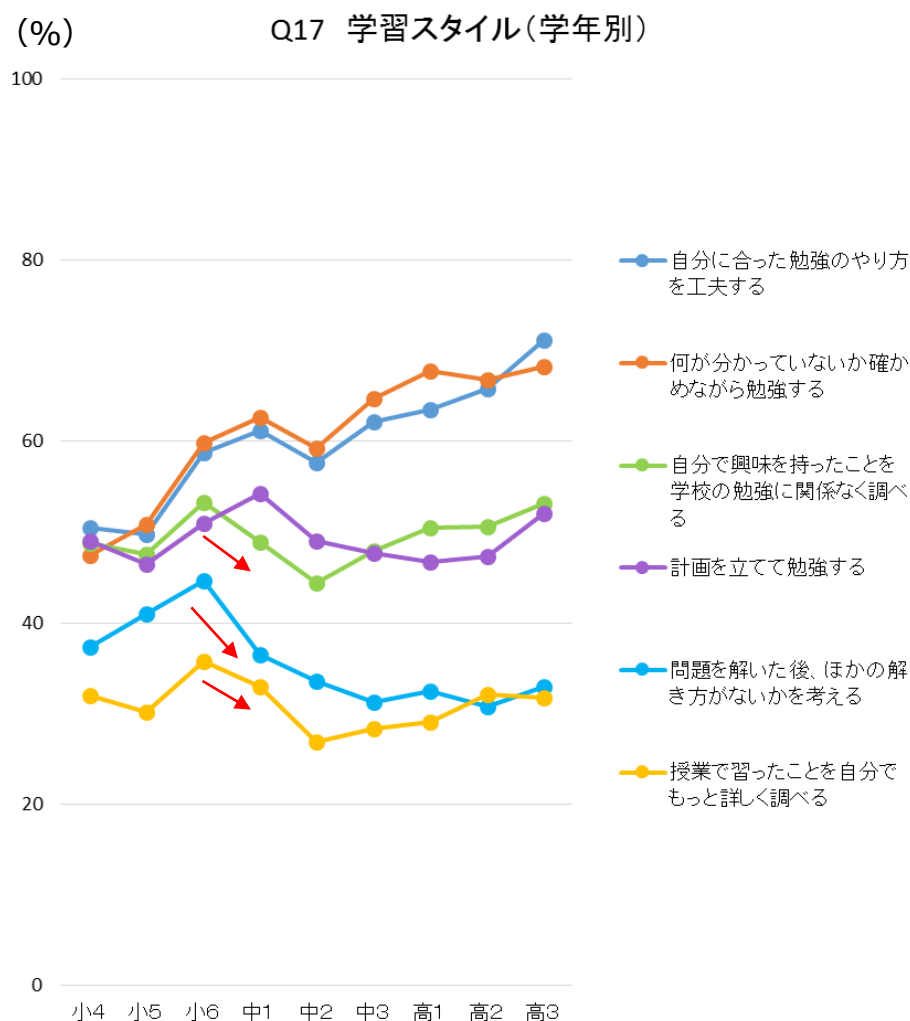
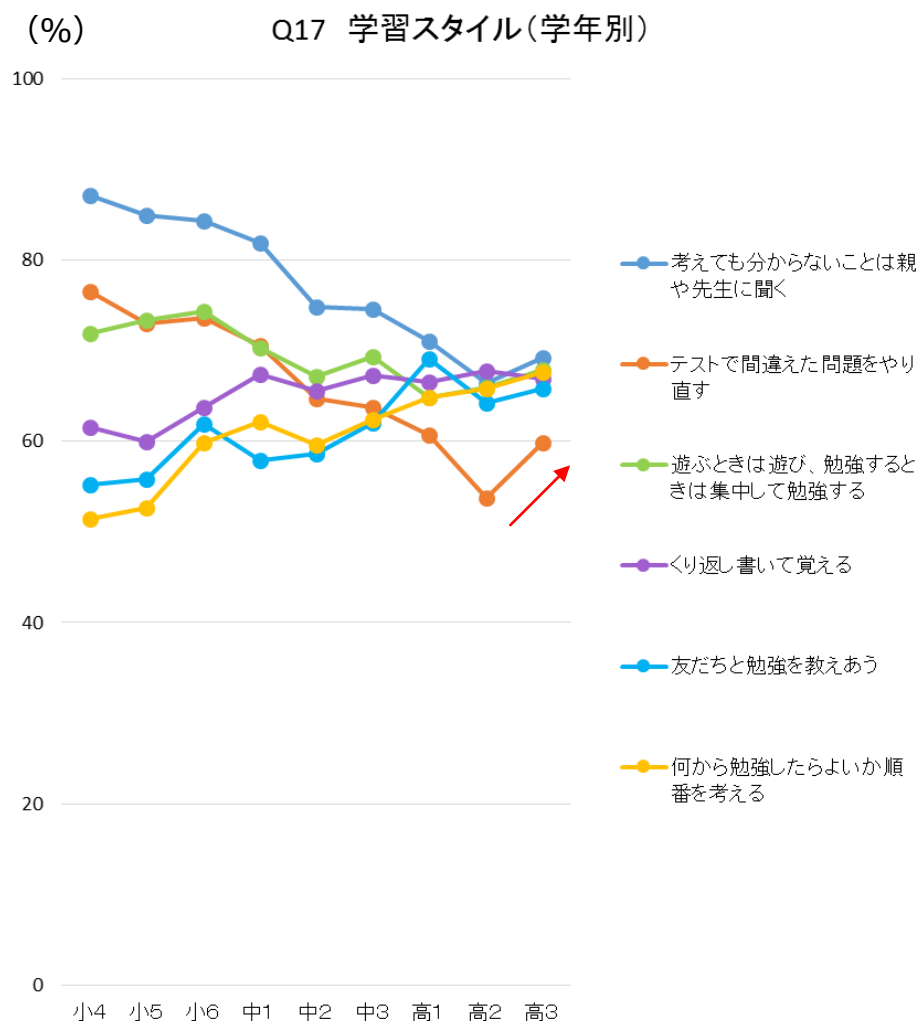


*「よくする」+「ときどきする」の%。

*「小4～6生」の値の降順で、左上から順に項目を並べた。

【子】 学習スタイル(学年別)

「テストで間違えた問題をやり直す」はずっと下降するが高3で上昇。
 「自分で興味を持ったことを調べる」「ほかの解き方がないかを考える」
 「自分でもっと詳しく調べる」は小6⇒中1で急降下

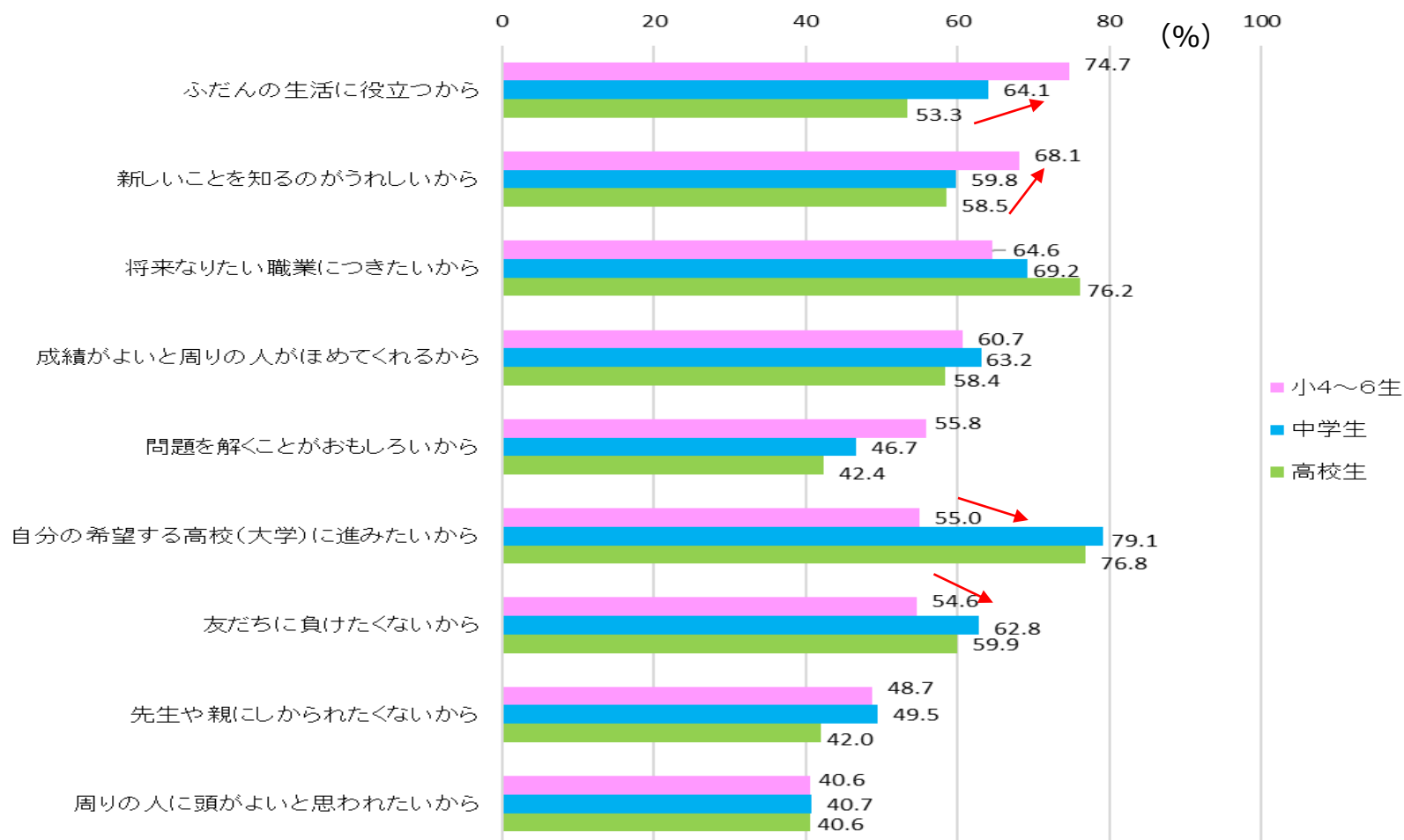


*「よくする」+「ときどきする」の%。

【子】 勉強する理由(学校段階別)

小学生は「ふだんの生活に役立つ」「新しいことを知るのがうれしい」
 中高生は「自分の希望する高校や大学に進みたい」
 中学生は「友だちに負けたくない」 がやや高め

Q18 勉強する理由(学校段階別)

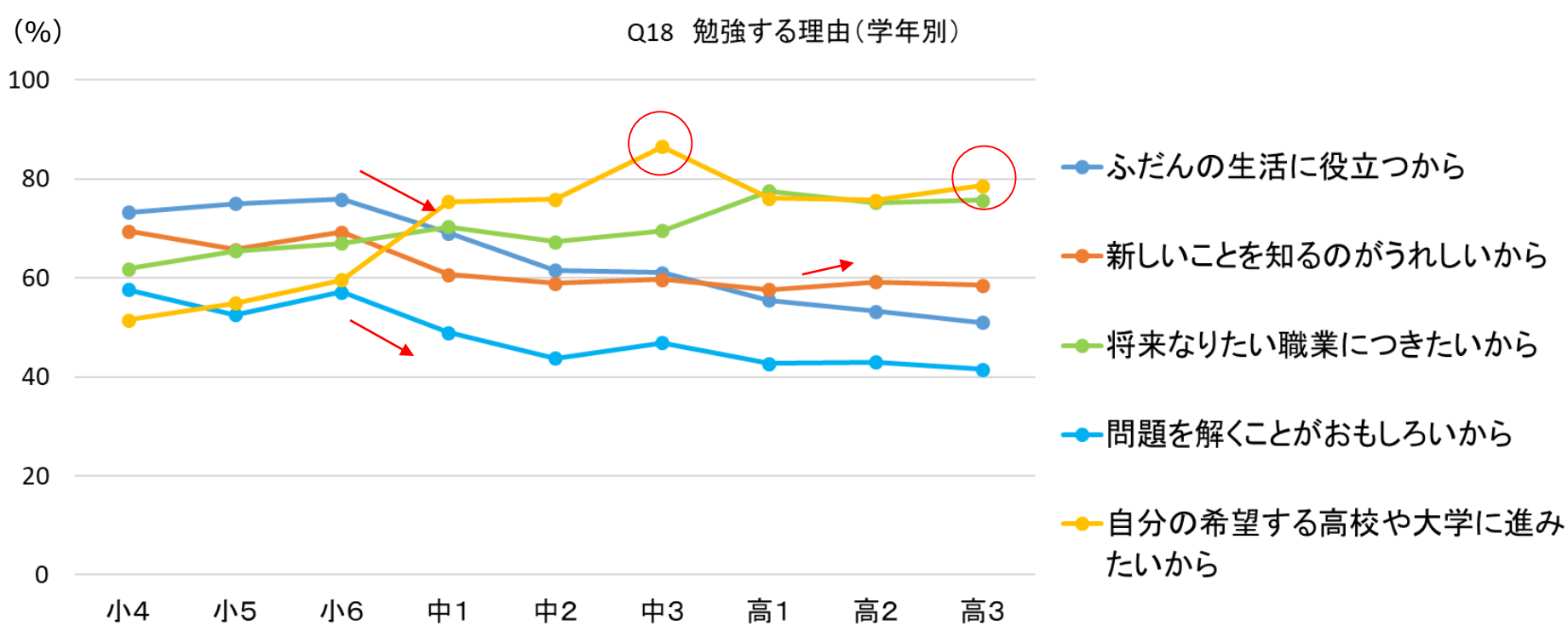


*「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

*「小4～6生」の値の降順で、上から順に項目を並べた。

【子】 勉強する理由(学年別)

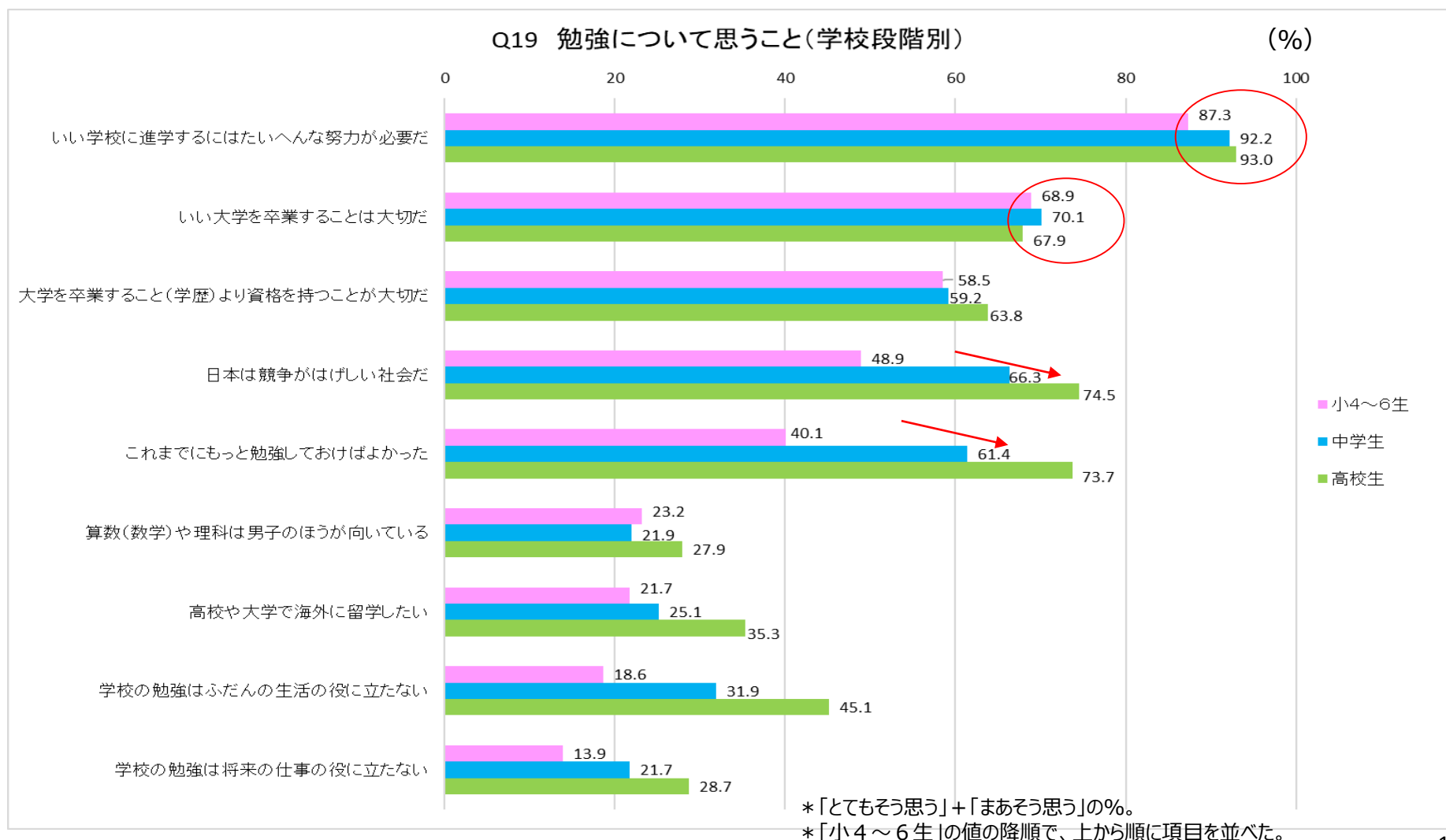
「自分の希望する高校や大学に進みたい」は受験学年（中3、高3）で高め
「新しいことを知るのがうれしい」は高1まで下降するが、高2・3でやや上昇
「ふだんの生活に役立つ」「問題を解くのがおもしろい」は小6⇒中1で下降



*「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

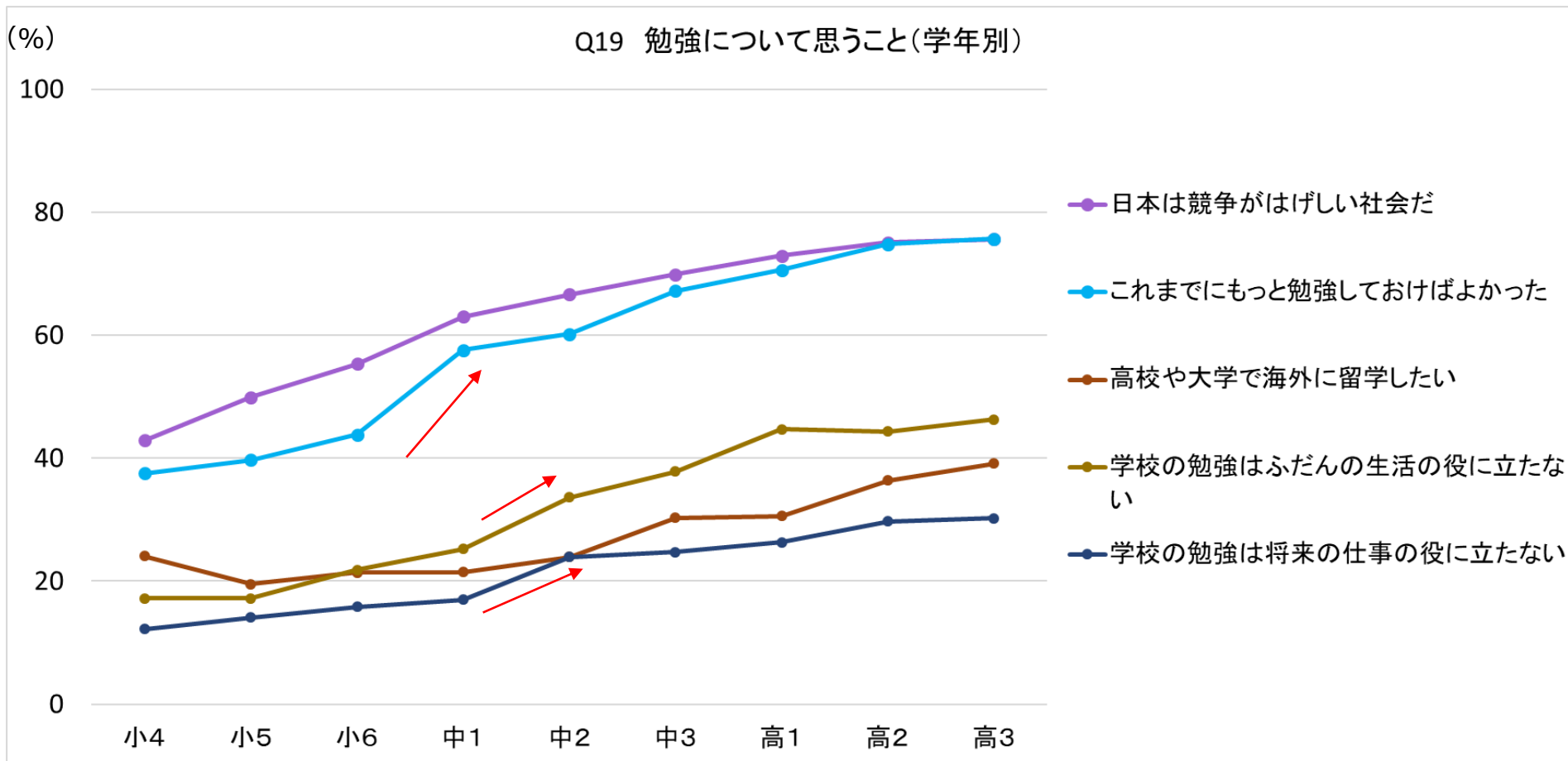
【子】 勉強について思うこと(学校段階別)

小中高生とも「いい学校に進学するにはたいへんな努力が必要」
「いい大学を卒業することは大切」が高い
中高生で「日本は競争が激しい」「もっと勉強しておけばよかった」が高い



【子】 勉強について思うこと(学年別)

「これまでもっと勉強しておけばよかった」は小6⇒中1で大きく上昇
「学校の勉強はふだんの生活や、将来の仕事の役に立たない」中1⇒中2で上昇



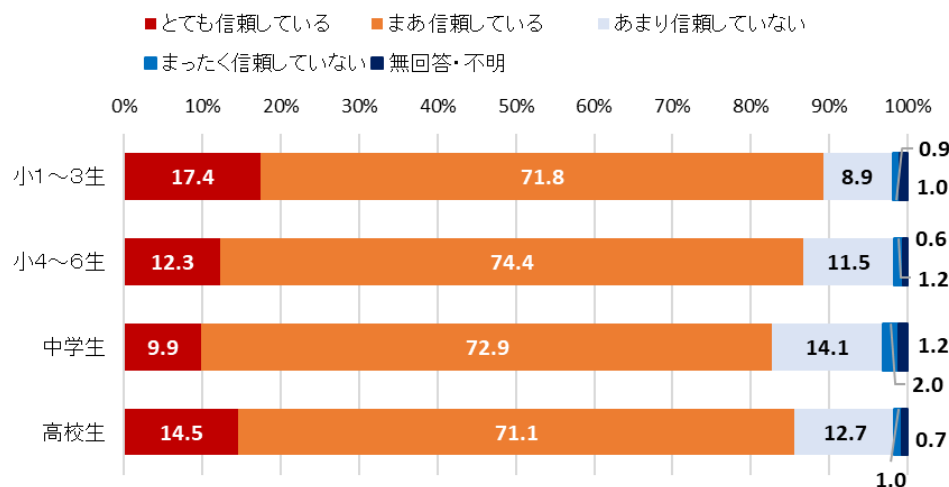
* 「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%。

* 中高生のための設問は図表から除外した。

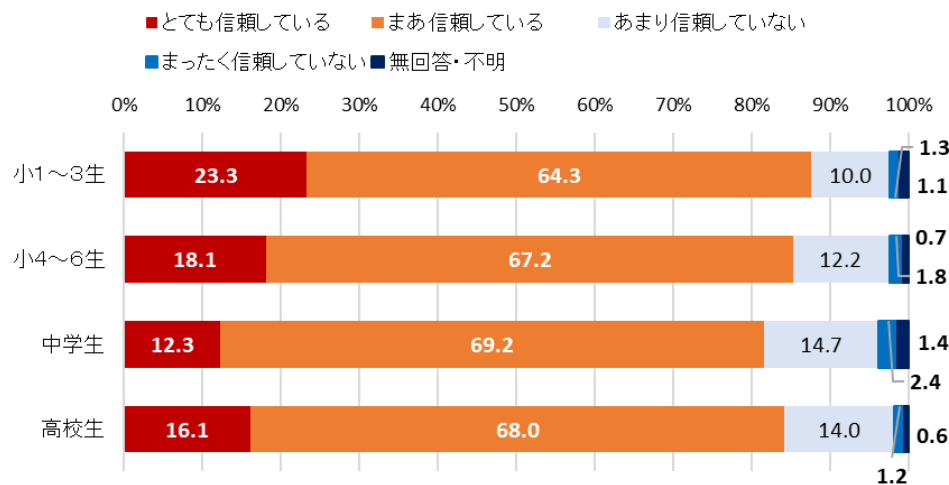
【保】 保護者の学校信頼

保護者の学校への信頼は高い

「学校」への信頼



「学校の先生」への信頼



「学校」に対する意見

